

(別紙4)

評価結果報告書

事業所番号	2970300469
法人名	社会福祉法人 郡山双葉会
事業所名	グループホーム なごみ 筒井
訪問調査日	平成 21 年 3 月 9 日
評価確定日	平成 21 年 5 月 1 日
評価機関名	特定非営利活動法人カロア

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけています。
- 「取り組みを期待したい内容」欄は、「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 評価結果概要表

平成 21 年 3 月 9 日

【評価実施概要】

事業所番号	2970300469
法人名	社会福祉法人 郡山双葉会
事業所名	グループホーム なごみ 筒井
所在地	奈良県 大和郡山市筒井町1535番地 (電話) 0743-59-5753

評価機関名	特定非営利活動法人カロア		
所在地	大阪市大阪市天王寺区堀越町1番1号四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成21年3月9日	評価確定日	平成21年5月1日

【情報提供票より】 (21 年 2 月 23 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日						
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人				
職員数	8 人	常勤	5 人	非常勤	3 人	常勤換算	8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺平屋	造り
	階建ての	～ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	○ 有(200,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 ○ 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	500 円	おやつ	150 円
	または1日当たり	1,400 円		

(4) 利用者の概要 (2 月 23 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3	要介護2	2		
要介護3	3	要介護4	0		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 82.7 歳	最低	73 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	青藍病院 原医院 ササオカ歯科 山科皮膚科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

奈良県大和郡山市筒井という緑豊かな歴史ある町で、平静な住宅街にとけ込んだ中で、門構えがあり落ち着いたあるりっぱな民家を改修した建物です。職員の方も私服で対応され、玄関も広く椅子が置いてあり、田舎に帰ってきた温かみのある環境でした。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営理念や運営方針が、掲示されてるが建物にふさわしくないという指摘が、改善されてます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営理念や運営方針の掲示も玄関とリビングに建物にあった額に入れ見やすい場所に掲示されてます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 自治会の一員として、老人会やほのぼのサロンに積極的に参加され地域の方の意見も取り入れられ、また庭で餅つきをしたり信頼関係を保ち質の向上に努めておられます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会を開催し、なごみ便りで近況報告をされてます。また、家族の意見や要望など聞いて安心して暮らせるように努力されてます。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の方との関わりをもてるように、自治会に参加され、野菜などいただくような関係を深めておられます。災害緊急時には、救急班を派遣してもらえ、体制作りがされています。
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「感謝の心、助け合いの気持ち」を忘れず地域の方々の関係性を強化し、地域生活の継続を支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関とリビングの壁に理念と方針が、木造の造りにあった額にいれ掲示され、日々確認しケアに生かしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し月1回「ほのぼのサロン」に参加し、地域の方と顔なじみになり野菜など頂いたり、庭を開放し餅つきを行うなど、積極的に交流されています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価の結果をふまえ、職員間で話し合い報告し、サービスの質の向上に努めています。		

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議では、防災についてや地域の環境についても話し合い、参加者の意見を大切に一人ひとり検討され、サービスの向上に努めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からの介護相談員派遣事業を利用して年1回、行政機関と介護相談員との交流の場を設けています。	○	運営推進会議のみならず、市との関わりも積極的に向かい合っていくなどの、対応をされては、いかがでしょうか。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	昨年9月から家族会を開催され、家族様から月1回話し合いをもってもらいたいと要望があり努力されていますが、現実に2～3ヶ月に1回の報告となっています。	○	居間の共有空間での本や写真アルバムが置いてあるだけでなく、設置してあるパソコン、ディスプレイの画面をスクリーンセイバーするなどして、また なごみ便りを郵送するときに一言そえるなど、しては、いかがでしょうか。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会また、面会時に要望や意見など聞かれ反映されてます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一人ひとりにあったサービスを、職員同士が話し合い、安心した生活ができるように細かい配慮がされています。引継ぎなどの面でも努力されています。		

外部 評価	自己 評価	項 目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外で実習を受けたり、研修の機会を確保されています。また、資格習得にも努力されています。	○	研修内容を全員のスタッフに伝え、研修がさらに、ボトムアップへとつながる事を期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入され、研修会に参加して意見交換会を図っています。	○	地域のグループホームとの交流を深め、互いに研修し、質の向上につながることを期待します。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に体験ができるように配慮され、徐々に馴染める雰囲気をつくられています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	自立した生活ができるように、本人の意思を尊重し、見守ってケアしすぎない姿勢がうかがえます。		

外部 評価	自己 評価	項 目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の会話のなかで個性を尊重し、その人らしい姿を保ちながら、ケアされています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人家族 また、職員会議で話し合いを持ち、介護計画を作成されています。また、センター方式の活用にも取り組んでいます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、本人や家族と話し合い、現状に応じてサービス提供できる計画が立てられており、検討、見直しがされています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々の体調を見て、職員のかたが、医療機関へ通院介助の支援をされています。		

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に月1回の受診、週1回の歯科検診をされています。また、本人やご家族が希望する医師の診察にも対応されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方について、かかりつけ医などと話し合いはできているが、家族とは対象者がいなく、できていないとのこと。	○	ご家族の方と今後重度化した場合の、対応について話し合い、体制作りに取り組まれることを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	トイレ誘導及び口腔清潔など、適切な声掛けで誘導され、また、カーテンなどでプライバシーの確保がなされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	昼食と夕食は全員で食事され、朝食に関しては、個人のペースにあわせて、起床された方から、支援されています。		

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お手伝いできる方が食事につける漬物を盛りつけ、食事をするときも、入所者が挨拶し「いただきます」と合図して職員も一緒に、思い思いにゆっくりと召し上がられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間や入浴回数も個々のペースにあわせ入浴を楽しめるように支援されてます。お風呂の嫌いなかたは、職員の声掛けタイミングを見て支援されてます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの趣味を把握され活動されています。また、同じ双葉会の園児たちとも交流があり、手づくりの作品をもらったり、今は、卒園時へのプレゼント(布袋)作りに励まれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	最近外出の機会が、以前に比べ少なくなったようですが、庭が広いので恵まれた環境で季節を感じていただけるように、支援されています。	○	地域の方々と庭園での催しごとや清掃など働きかけをしては、いかがでしょうか。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	古民家のため襖で仕切られており、各部屋は鍵はかけられませんがプライバシーを守り、落ち着いた空間の中で、安全面に配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ほのぼのサロンを通じ地域のかたにも知られ自治会の協力を得られています。緊急時に救急班を派遣してもらえ体制と法人役員の方にも協力要請されてます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は宅配業者から配達され、調理されてます。一人ひとりの食事摂取量を記録し、対応されてます。また、咀嚼にあわせ形態にも工夫されてます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	純和風の立派な民家で中庭もあり日当たりがよく風通しもよい。リビングからは、玄関の来客や外がうかがえ、なごみの空間になっています。施設の回りも民家のため静かで季節を感じる事ができるようになっています。庭にもお花が植えられています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室になじみの家具や使いこなしした生活用品が、置かれています。		